

平成 21 年度「社会人の学び直しニーズ対応教育推進事業」

“介護予防新時代における口腔機能向上支援スキルアップ教育”

実施報告

【事業の概要】

超高齢社会を迎えたいま、健康高齢者が介護状態になることを予防する介護予防が急務です。摂食・嚥下や発音などの口腔機能を維持・向上させることは、窒息や誤嚥性肺炎、低栄養や脱水を予防し、QOL の向上に繋がります。また、医療費や介護保険制度における経済効果も期待できます。そこで、歯科衛生士有資格者を対象に、口腔機能の向上支援を実践的に学ぶ教育プログラムを開発し、平成 21 年度より“歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座”を開講しました。

【事業の内容】

21 年度受講者を定員 40 名で募集したところ 152 名の応募があったため、48 名を受講者として受け入れました。他の応募者には講義のみの聴講とし、歯科衛生士以外の職種（歯科医師・介護福祉士等）の希望者も聴講できることにしました。

表 1. 平成 21 年度に実施した事業概要

月 日	事 業 の 内 容
平成21年	
4月1日	・ 歯科衛生士2名を嘱託職員として雇用し実習施設に配置
4月27日	・ 平成21年度期カリキュラム検討会を開催
5月10日 ～9月6 日	・ 「歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座」開講式 第1回～9回 [A]口腔介護の知識と技術、[B]生活介護の知識と技術
6月～ 8月	・ [C]口腔介護施設実習の計画を検討
9月13日	・ 施設実習オリエンテーション
9月26日 ～1月31 日	・ [C]口腔介護施設実習（グループ別） 臨地実習を終了した受講者から事後評価アンケートを実施
10月4日	・ 第2回口腔機能向上スキルアップフォーラムを開催 ・ 22年度期受講生の募集活動
11月21日	・ 第6回日本口腔ケア学会にて「歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップ講座」事業の中間報告
12月～	・ 事後評価アンケートの集計作業 ・ 22年度受講生・聴講生の募集活動

平成22年 2月21日	・修了試験実施
3月14日	・施設実習報告会を開催、修了証並びに単位認定書授与式
3月下旬	・第3回口腔機能向上スキルアップフォーラムを開催 ・学び直し事業運営委員を開催 ・事後評価アンケートの集計作業

本講座は[A]口腔介護の知識と技術、[B]生活介護の知識と技術および[C]口腔介護施設実習の3部構成されます。[A]および[B]は平成21年5月10日から9月6日に至る約4ヶ月間で、計9回の授業を隔週日曜日に実施しました（表2）。

表2. 平成21年度期教育プログラム

回	期日	教育項目	時間数	授業形態	講師	受講者数	聴講者数
1	5月10日	開講式 学長挨拶			栢 豪洋	47名	71名
		福岡県歯科衛生士会長 挨拶			安河内ひとみ		
		オリエンテーション			升井一朗		
		A 口腔ケア概論	2	講義	柿木保明		
		口腔ケアの意義と目的、制度、NST など					
		B 高齢者の身体的・心理的特徴	2	講義	末松美保子		
2	5月24日	B 介護福祉と社会の仕組み	2	講義	有馬 洋	47名	70名
		A 口腔の加齢変化と口腔機能	3	講義	柿木保明		
		口腔乾燥、誤嚥性肺炎、低栄養					
3	6月7日	A 摂食嚥下機能の解剖と生理	2	講義	岩佐康行	47名	67名
		A 摂食嚥下の評価法と訓練法	3	演習	岩佐康行		
				ほか4名			
4	6月21日	B 日常生活の介護技術	2	講義	末松美保子	47名	66名
		認知症の理解含む			ほか3名		
		B 日常生活の介護技術	3	演習			
5	7月5日	A 歯科衛生士による 専門的口腔ケア①	2	講義	堀部晴美 ほか3名	47名	69名
		A 歯科衛生士による 専門的口腔ケア②	3	演習	堀部晴美 ほか3名		
6	7月19日	B リハビリテーションの基礎	1.5	講義	薛 克良	45名	65名
		A 口腔リハビリテーションの基礎	1	講義	平塚正雄		
		B 食事介助と食形態	3	演習	堀部晴美 ほか3名		

7	8月2日	A 口腔機能のアセスメント・ケアプラン	2	講義	緒方稔泰	48名	57名
					古賀直子		
		A 口腔ケアのアクティビティ	3	演習	升井一朗		
					力久生子 ほか2名		
8	8月23日	A 口腔機能向上の実際	2			48名	55名
		地域支援事業		講義	天本和子		
		回復期病棟		講義	眞武幸枝		
		A 口腔機能向上、個別計画	3	演習	久保山裕子		
		事例検討 グループワーク			ほか2名		
9	9月6日	A 重症者・有病者の口腔ケア	2	講義	高野ひろみ	47名	66名
		A 歯科衛生士による 専門的口腔ケア③	3	演習	堀部晴美 ほか2名		

施設実習[C]は平成21年9月13日から22年1月31日に至る約5か月間に、1班8名のグループに分かれて、学園内の介護施設（介護老人保健施設および介護老人福祉施設）にて実施しました。この実習は2つの介護施設入所者および通所利用者を対象に「口腔介護および口腔機能の向上支援」を実践する実習です。実習は受講者1人につき32時間としました。指導者は嘱託歯科衛生士2名のほか、施設の介護職員および短大教員が担当しました。

○介護施設実習の概要（実習生一人につき計32時間）

①介護老人保健施設	2日間(5.5時間×2)	11時間
②介護老人福祉施設	2日間(5.5時間×2)	11時間
③通所介護（デイサービス）	1日間(5時間)	5時間
④短大での報告会・引継ぎ	5時間(約60分×5)	5時間

	1. 介護老人保健施設 サンシャイン シティ	2. 介護老人福祉施設 サンシャイン プラザ	3. 通所介護（デイサービス） サンシャイン プラザ
場 所	各フロア	各ユニット	サンシャイン プラザ1F
班編成	1班：6名 8班	1班：6名 8班	1班：3名 16班
実習日	土・日曜日（16日間）	土・日曜日（16日間）	毎週 土曜・祝日（16日間）
時 間	9:00～15:30 (昼休みを含む)	9:00～15:30 (昼休みを含む)	9:00～14:00

【口腔機能向上スキルアップフォーラム第2回ならびに第3回を開催】

本フォーラムは、介護の現場で歯科衛生士と協働する他職種（介護福祉士、看護師、歯科医師、医師等）に口腔介護と口腔機能向上支援を理解してもらい、高齢者の介護予防と要介護者の口腔機能リハビリが普及することを目的に平成20年度より開催しています。21年度は、10月4日に第2回を開催し参加者は90名、22年3月14日に第3回を開催し参加者は144名でした。また、平成22年度は10月3日（日）に第4回、23年2月20日（日）に第5回を開催予定です。

○歯科衛生士の口腔機能向上スキルアップフォーラム参加者数

回	期 日	参加者数
第 1 回	H21. 3. 15	179 名
第 2 回	H21. 10. 4	90 名
第 3 回	H22. 3. 14	144 名

【22 年度期開講準備】

11月より22年度期受講者の募集活動を本学卒業生ならびに福岡県歯科衛生士会会員を対象に行いました。また、22年度期プログラム、講師選定および日程等を検討し教育プログラム案を作成しました。平成22年度期教育プログラムは下記のとおり。

第 1 回 5 月 9 日（日）：開講式、オリエンテーション、[B]高齢者の身体的・心理的特長、[A]口腔ケア概論

第 2 回 5 月 23 日（日）：[B]介護福祉と社会の仕組み、[A]口腔の加齢変化と口腔機能

第 3 回 6 月 20 日（日）：[A]歯科衛生士による専門的口腔ケア①、②

第 4 回 6 月 27 日（日）：[B]生活介護の知識、[B]生活介護の技術

第 5 回 7 月 11 日（日）：[B]リハビリテーションの基礎、[A]構音機能の管理とリハビリ、[A]口腔リハビリテーションの基礎

第 6 回 7 月 25 日（日）：[A]摂食嚥下機能の解剖と生理、[A]摂食嚥下の評価法と訓練法

第 7 回 8 月 8 日（日）：[A]重傷者・有病者・ターミナル期の口腔ケア、[B]食事介助と食形態、A 歯科衛生士による専門的口腔ケア③

第 8 回 8 月 22 日（日）：[A]口腔機能のアセスメント・ケアプラン、レクリエーション技法、[A]口腔ケアのアクティビティ

第 9 回 9 月 12 日（日）：[A]ケアプラン・レクリエーションの検討、[A]ケアプラン・レクリエーション発表

各回 5～6 時間の授業（[A][B]の講義・演習）を全 9 回（計 51 時間）実施する。

[C]口腔介護施設実習は 9 月 25 日より 12 月 19 日までの期間に、1 班 8 名のグループに分かれて、学園内の介護施設で実施する（6 時間×5 日＋2 時間[オリエンテーション]＝計 32 時間）。また、本講座修了者の到達目標のひとつに、日本口腔ケア学会認定 4 級資格試験の合格を掲げている。現在まで、九州近県で試験が行われていないので、平成 22 年 10 月 3 日に本学を会場として認定試験を実施することを学会事務局と折衝した。

【平成 21 年度プログラム修了者】

平成 21 年度の講座全課程を履修し、修了試験（平成 22 年 2 月 21 日実施）に合格したものは 47 名でした。平成 22 年 3 月 14 日に修了式を開催し、修了証を授与するとともに、福岡医療短期大学の履修証明書（4 単位）を交付しました。